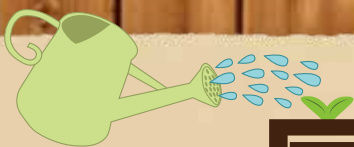


チャレンジ家庭菜園



修善寺営農センター
松下 千春

12月の家庭菜園の管理

12月になると気温が低下してくるので、冬に備えて寒さの対策をとりましょう。また、タマネギなどは1回目の追肥の時期となります。

ハクサイ

ハクサイも12月になると大きくなり収穫できるようになります。ハクサイをできるだけ長期間持たせるためには、図1のようにハクサイのあたまをわらなどで縛って保温するようにしましょう。うまくいけば、2月初旬までハクサイの保存が可能になります。

タマネギ

11月に植え付けしたタマネギは、この時期に1回目の追肥をしましょう。

追肥には、生育をよくする作用と耐寒性を高める効果があるので、確実に行いましょう。

追肥は、FTE入りS280号化成を1㎡当たり、30gを目安にしましょう。

図1



外葉をしぼっておくと寒さによく耐えるので、遅くまで畑に置くことができます

霜よけ布の利用

冬の間は、寒さで野菜が育ちにくくなるので、寒さ対策には霜よけ布が有効です。

ハウレンソウやコマツナ、ダイコンなど、下記の写真のようなべたがけ(そのまま上からかけること)で、温度を高め生育をよくする効果と霜を防ぐ効果があります。

べたがけにする場合には、風で霜よけ布が飛ばないように、すそを土などで押さえるようにしましょう。

また、針金などを利用してトンネル型にする方法もあります。

べたがけ



不織布や割繊維不織布などを直接葉の上に覆います

おすすめ商品

不織布 (幅1.8m×長さ5m)

523円(税込)



葦山・修善寺営農センター・大仁センターで取り扱っています。

JAでは霜よけ布を不織布という商品名で取り扱いをしています。葉物類などは露地より生長がよく、霜を防ぐ効果など防寒対策におすすめです。